



木次っ子の四季

～互いに互いの成長を喜び合う学校～

校長:伊藤彰彦



新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

昨年12月の初旬から月末まで、本校は新型コロナウイルス感染症の感染者が激増しました。地域の皆様、保護者の皆様にはご迷惑とご心配をおかけし、申し訳ございませんでした。基本的な対策を徹底し、改善できるところは改善し、安心安全な学校づくりを推進してまいります。

10日には、始業式を行いました。子ども達には兎年ということもあり、以下のお話をしました。

「今年は飛躍の年になるように、次のことに気を付けて過ごしましょう。『兎のひり放し』を避けるべく計画的に仕事を行い、『二兎を追うものは一兎も得ず』とならないように目標を絞ってことに当たり、危険や災害からは『脱兎の勢い』で距離を置き、安心安全を第一に過ごしていきましょう。」

人権集会

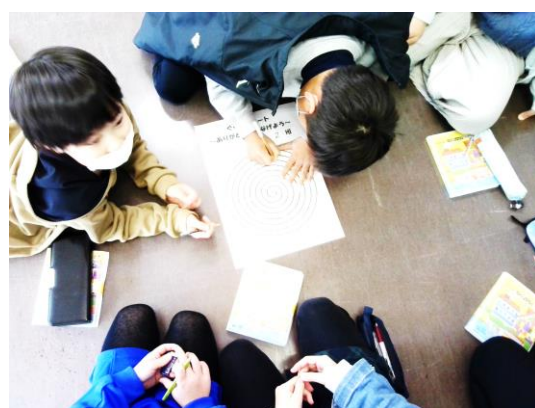
12月には、人権週間がありました。人権とは何なのか。子ども達には「みんなが幸せに過ごすこと」と、話をしました。憲法前文には、基本的人権を守るには「不斷の努力が必要」とされています。一つの法律ができたからといって、人権が保障されるものではありません。そこに生きる一人一人が互いの幸せのために努力をしなくては、人権はいとも簡単に踏みにじられてしまいます。だから、私たちは学びを通して人権を守る努力をしなくてははいけません。

木次小学校では、人権週間に合わせ、お互いが笑顔になるように「ぐるぐるアート」を行いました。テーマは「ありがとう」でした。友達に、地域の方に、家族に、学校の先生に、ものや出来事に「ありがとう」と言えることを見つけて、つなげていきました。「ありがとう」の思いがつながり、素敵でした。

「ありがとう」は人と人の仲をよくする魔法の言葉だと、何かの本に書いてありました。まさにその通りだと思いました。



← 各色の班
ごとに車座
になり順に
書きます。
お互いに
何を書くの
か楽しみです。
→



性の多様性に関する授業

性の多様性の話になると、こうおっしゃる方が多いです。「自分は会ったことないから分からない。」「周りにいないから、関係ないと思う。」本当にそうでしょうか。私は、会ったことがありますし、周りにいらっしやいました。正確には、その方が卒業をされた後に、その方が、自分の性に違和感をもっていたらしい、ということを知りました。私は、他にも同じようなケースを経験しました。会ったことがない、周りにいないと考えるのは決して正しくはないと思います。自分の性に違和感をも

つ方が周りにおられるとしたら、という意識と視点をもっていることは相手も自分も幸せに過ごすうえで大切だと思いました。また、社会がまだ寛容ではない部分があるからこそ、自分らしく過ごすことを躊躇わせているのかもしれませんが。一人一人の努力で寛容な社会を作っていきたいものです。

12月の学習公開日には、全校挙げて「性の多様性に関する授業」を公開する予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染症の校内での広がりを受け、中止せざるを得ませんでした。後日、5年、6年は授業をしました。子ども達の感想を掲載します。多くの子ども達が、このことについてよく理解をし、受け止めていると感じ、嬉しく思いました。(原文のまま)

今日の授業では、いろいろな性について考えました。男の子だけど心の中は女の子の気持ちがあるという人や、女の子だけど心の中は男の子という気持ちの人がいることがわかりました。だから、その人のことを悪く言ったり、さけたりしてはいけないと思いました。もしそういう人と関わることがあれば、ほかの人と同じように優しく接するということが大切だと思いました。

自分の性別が女性でも心は男性の人もあるし、性別が男性でも心は女性の人がいるんだなと、思いました。また、それだけではなく、心の性は男女どちらでもない人もいて、それぞれ自分の好きな自分でいいんだなと、感じました。だから、その人のことを悪く言ったりせずに、その人自身を受け入れてあげたいなと思いました。私も、自分の好きなありのままの自分でいたいと思いました。

いろんな性についてわかりました。周りにそういう人がいたら、気持ち悪いとか笑ったりするのではなくて、自分らしくていいとか、一人じゃないんだよとか、そういう言葉をかけてあげようと思いました。

みんな一緒っていうわけではなくて、いろんな人がいるのがいいなと思いました。

今日はいろいろな性があることが分かったし、男の人が男の人のことを好きになる人もいることが分かりました。自分らしく生きればよいと思いました。そういう差別をしないことが大切だなと思いました。

どんなに変だって言われたりしても、自分らしく生きればよいことがわかりました。普通じゃないとダメということはないと感じました。

書初めの練習会



←地域講師の先生方にご指導していただきました。一人一人に対して、丁寧にご指導くださいました。子ども達は、熱心に取り組みました。→



いつもありがとうございます

本校に赴任して2年が経とうとしています。登下校時に子ども達が危ないことに遭遇したことは、今のところ1件もありません。本当にありがたいことです。登下校につけて、多くの方に見守り活動を行っていただいているからこそだと思います。あらためて感謝申しあげます。今後も、できる範囲で子ども達の安全を見守っていただければと思います。

行事予定

- 1月24日 縄跳び記録会(27日まで)
- 2月 2日 避難訓練
- 4日 木次中学校新入生説明会

9日 新入生一日入学

- 16日 全校15:10下校(研修日)
- 17日 学習公開日、学年懇談会